【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【公開番号】特開2013-130147(P2013-130147A)
【公開日】平成25年7月4日(2013.7.4)
【年通号数】公開・登録公報2013-035
【出願番号】特願2011-281142(P2011-281142)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｆ　5/44　(2006.01)
Ｆ０４Ｆ　5/10　(2006.01)
Ｆ０４Ｆ　5/54　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｆ　5/44　Ｂ
Ｆ０４Ｆ　5/10　Ｋ
Ｆ０４Ｆ　5/10　Ａ
Ｆ０４Ｆ　5/54

【手続補正書】
【提出日】平成26年11月13日(2014.11.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エゼクタと複数の液体圧送ポンプと液体タンクとを含むエゼクタ式真空ポンプであって、
前記液体タンクと前記各液体圧送ポンプの液体流入口とを接続し、
前記エゼクタの入口と前記各液体圧送ポンプの液体流出口とを接続し、
前記エゼクタの出口と前記液体タンクの上部とを接続し、
前記各液体圧送ポンプの液体流入口をそれぞれ高低差を設けて前記液体タンク内で開口し、
前記液体タンク内の液体を前記各液体圧送ポンプで圧送することにより、前記エゼクタにて吸引力を発生させること
を特徴とするエゼクタ式真空ポンプ。
【請求項２】
前記エゼクタの出口と接続する副液体タンクを、前記エゼクタよりも高い位置に配置し、
前記エゼクタの入口と前記副液体タンクの下部とを接続し、
前記副液体タンクと前記エゼクタの入口との間に生じた水頭圧によって流下する液体を前記エゼクタの駆動流体として用いること
を特徴とするエゼクタ式真空ポンプ。